

# 日本僑報

題字：人民日報前社長邵華澤先生

総第 78号 発行 / 日本僑報社 定価 / 300 円  
〒 333-0866 川口市芝 5-6-6 TEL048-432-7332 FAX432-7335  
http://duan.jp duan@duan.jp 編集長 / 段躍中

## 『胡錦濤の対日政策』刊行

『中国共産党・国家・軍を動かす胡錦濤の対日政策 歴代指導者が語った「日中関係」』は12月に本社より刊行された。著者は馮昭奎と鈴木孝昌(東京新聞中国総局長)。詳細は2面へ。



# 王毅大使 「中日関係」を語る

王毅駐日本大使は10月18日、日本記者クラブで行われた記者会見に招かれ、中国政府の対日政策や歴史問題、台湾問題などにおける原則的立場を説明した。

王大使の主な発言内容は次のとおり。

中国の指導者と中国政府は一貫して中日関係を非常に重視してきた。中日関係の健全な発展を実現するために、双方が「一つの基礎を維持し、



三つの目標を推進する」ことを望む。「一つの基礎」とは中日共同声明などの3つの政治文書により形成された政治的な基

礎のことであり、中でも重要なのは日本が侵略戦争への反省を表明すること、「一つの中国」の原則を堅持することだ。中

日国交回復以来の歴史を振り返ると、双方がこの基礎を維持しさえすれば両国関係は順調に発展するが、そうでない場合には問題が出ている。双方は現在、こうした精神と原則に立ち返り、厳守することによって、政治的な障害を取り除き、両国関係の健全な発展を実現させていく必要がある。

両国関係の健全な発展のために双方が共に努力すべき「三つの目標」を提案する。

※王毅大使の冒頭発言全文は3面から掲載。

## 『ゴッドギャンブラー』刊行

著者の楊中美氏は今まで多くの人物伝を書かれてきた。その楊氏がマカオのカジノ王であるスタンレー・ホー伝を書かれた。「どうして？」と一瞬目を疑った。答えは7面へ。

## 日本監査役協会初訪中 中国との交流を深める

吉井毅会長を始めとする日本監査役協会訪中団一行12人が10月10日～17日の間に訪中した。一行は、全人代常務委員会法制工作委員会、商務部、国有資産管理監督委員会、証券管理監督委員会、上



海証券取引所、中国民(私)営企業研究会を訪問した。また、上海で上海国有資産管理監督委員会と上海公司法專業委員会主催のコーポレート・ガバナンスシンポジウムに参加し、吉井会長と大川法規委員長が講演を行った。今回の訪中のコーディネーターは、謝崇怡女史である。

日本監査役協会は4400社の企業と約6400名の監査役で構成された日本で唯一最大の監査役の団体である。中国における会社法制・コーポレート・ガバナンスの実情を幅広く考察するために、初めて訪中した。これを契機に今後中国との交流が深まるだろう。